

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	太陽の門放課後等デイサービスセンター「きゃんばす」		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)
			12
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
			6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々の特性や発達段階に合わせた活動プログラム(個別・集団)を工夫し、取り組んでいる。	・お子さまの様子の他、家庭や学校等からの情報も含め、多角的な視点でアセスメントするように努めている。 ・個別支援計画書に沿った個別のSSTを考え、関わりの中でのねらいや留意点を部署内で共有している。	・学校やリハビリとの連携をより深め、情報や専門職からの意見を参考にし支援に役立てる。 ・支援の振り返りや事例共有を継続し、より個性の高い支援の充実に取り組んでいく。
2	・屋内だけではなく、屋外や地域での活動も取り入れ、様々な体験ができるよう努めている。	・主に長期休暇期間にお出かけや買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーや買い物のやり取りなを学ぶ体験ができるよう取り組んでいる。	・屋外で楽しめる活動の他、地域の商業施設や公園などに気軽に出かけられるよう、近隣施設をリサーチし、外出の回数を増やしていきたい。
3	・日頃からお子さまの状況を事業所と保護者間で伝え合い健康状態や発達状況について共通理解を深めるようにしている。	・ご利用中の様子は、写真・連絡ノートや送迎時に直接報告が出来るよう心がけている。	・お子さまを中心に、ご家族や職員も一緒に楽しめるイベントを企画し、より話しやすい関係を築けるようにする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子さまに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等やご家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供が少ないこと。	・ご家族からの介護や育児の個々の相談に対しては、適宜対応しているが、全体に向けての研修や十分な情報提供が出来ていない。	・ご家族の意向を把握したうえで、研修の検討や必要な情報を発信していく。
2	・父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会やきょうだい児同士の交流の機会が希薄なこと。	・父母やきょうだい児が参加するイベントが少ないこと。	・秋祭りなどのイベントの中で、保護者やきょうだい児同士が気軽に交流できる機会をつくる。
3			